

授業科目	キリスト教と文化					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期
担当教員	金谷 めぐみ						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> 本講義では、キリスト教と様々な文化との関わりについて学び、キリスト教が長い歴史の中で、どのように文化を形成し、また文化から影響を受けてきたのかを考察します。 キリスト教の歴史や思想に触れた後、キリスト教美術や絵画、音楽等の世界に広がるキリスト教文化の豊かさを学ぶことを通し、異文化交流と宣教について学び、自らの視野を広げていきます。 本講義を通してグローバルな視点からキリスト教文化について考え、キリスト教が人々の心や社会、文化に与えた影響について自分の考えを他者に説明できるようになることを期待します。 						

学生が達成すべき行動目標		
標準的レベル		・キリスト教の歴史を知り、芸術作品の鑑賞を通して、キリスト教文化の広がりに興味を持つことができる。 ・キリスト教芸術作品の鑑賞を通じ、キリスト教文化の具体性に触れることができる。 ・チャペルやクリスマス礼拝参加を通じ、現代のキリスト教文化を体験することができる。
理想的レベル		・キリスト教の歴史を知り、キリスト教文化の広がりについて興味を持ち、文献などの資料を用いて自分の考えを他者に説明することができる。 ・キリスト教芸術作品の鑑賞を通じ、キリスト教文化の具体的な作品について、文献などの資料を用いて説明することができる。 ・キリスト教の礼拝や行事への積極的な参加を通じ、キリスト教文化の実際を体験することで、本学の建学の精神である「感恩奉仕」を養うことができる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	0	
小テスト	0	
レポート	30%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	0	
レポート外の提出物	70%	クラスポートフォリオ
その他	0	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング										
DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	○	DP5	-	NU10104J WE10104J NT10104J EN10104J TO10104J ナンバリング

学習課題（予習・復習）										1回の目安時間（時間）
予習・復習：講義内容を踏まえ、関連する聖書の箇所や参考文献を読み、ノートに記録しておく。										4

第1回	テーマ：西欧文化の礎となったキリスト教の古代から中世の歴史を概観する 初期キリスト教文化に影響を与えた古代ギリシャ文化の特徴を捉え、中世のキリスト教絵画、建築、音楽にどのように文化が受け継がれたのか解説し、作品を鑑賞する。
第2回	テーマ：西欧文化の礎となったキリスト教のルネサンス、バロック期の歴史を概観する 宗教改革について解説し、キリスト教文化にどのような影響を及ぼしたか、芸術作品を例に解説する。
第3回	テーマ：教会暦とキリスト教芸術作品について解説する① 教会暦と礼拝の関係について説明し、キリスト教にまつわる芸術作品からイースターの意味について解説する。
第4回	テーマ：教会暦とキリスト教芸術作品について解説する② 教会暦と礼拝の関係について説明し、キリスト教にまつわる芸術作品からクリスマスの意味について解説する。
第5回	テーマ：キリスト教における異文化の交流① キリスト教の日本におけるキリスト教文化について解説する。
第6回	テーマ：キリスト教における異文化の交流② 明治期の日本におけるキリスト教文化について解説する。
第7回	テーマ：キリスト教文化の体験 今後のキリスト教文化のあり方についてグループでディスカッションを行う。 讃美歌の作詞・作曲体験
第8回	まとめ・振り返り これまでの講義で解説した内容を振り返り、総括する。
テキスト	聖書（新共同訳） 日本聖書協会 新生讃美歌 日本バプテスト連盟
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考文献は随時、授業でお知らせします。
課題に対するフィードバックの方針	各課題については、採点後に返却いたします。
学生へのメッセージ・コメント	キリスト教学、チャペル、教会訪問などのキリスト教の学びをもとに展開していきます。 授業で取り上げる作品以外にも、キリスト教精神が流れる芸術や文学等に積極的に親しみ、自らの視野を広げてください。